

2000人規模でなくそテ原発 10.8新潟大集会成功へ 長岡ゼロネットは大型バス2台で参加

衆院五区補選・直前の大集会

再稼働許さない声を大きく

これまで柏崎刈羽原発の適合審査に慎重姿勢を示していた原子力規制委員会の田中委員長。その態度を一変させ九月十八日の退任前に合格させる意向を示しました。安倍自公政権の意を受けたというべきでしょうか。

こうしたもつとで「なくそテ原発一〇・八新潟大集会」の成功はこれまで以上に重要です。

審査合格に抗議し再稼働を許さない声を大きく広げ、衆院五区補選(十月十日公示、二十二日投票)で原発再稼働を許さない候補者を後押しする集会にしましょう。

バス代は往復一〇〇〇円

お早めに申込みを(満席になり次第締め切ります)

原発ゼロ長岡市民ネットは一五人目標で取り組んでいます。どなたでも参加しやすいようにバス代を千円にしました。ぜひお誘い合わせてご参加下さるようお願いいたします。



☆十月八日(日)

☆新潟県民会館

☆古賀茂明さん

が講演します

原発ゼロ栃木の会から 長岡ゼロネットに シンポジウムでの報告要請

パネリストとして広井事務局長が参加

8月27日に宇都宮市で開かれた原発ゼロ栃木の会結成5周年記念「原発立地県の運動から学ぶシンポジウム」に、報告者として参加してきました。

栃木県には原発はないけれど、隣接する茨城県に東海第二原発、新潟県に柏崎刈羽原発があり、そのどちらかでも事故が起きたら県民に大きな被害が想定される為、栃木県連絡会(原発ゼロ栃木の会)が結成され、今回5周年記念として企画されたものです。

東海第二原発の問題と市民運動について「さよなら原発ひたちなか市実行委員会」の方が報告。老朽化、軟弱な地盤、低地

立地の問題等々、柏崎刈羽原発と類似する点がありました。

原発ゼロ長岡市民ネットは、①柏崎刈羽原発の危険性と現状について ②ゼロネット結成の経過とこれまでの活動 ③米山新知事誕生によって再稼働問題で新たな局面を開いた事などを報告し、また「原発からの距離シール」の見本を会場内に廻して見てもらいました。会場からゼロネットが新潟日報の記事を基に学習している事、米山知事が提起している3つの検証などが特に注目されました。

(広井)

安全に避難できるの？

左記は7月16日付新潟日報の記事の紹介です。

柏崎原発事故時の避難経路

中越沖で通行止め半数

複合災害時の対策必要

東京電力柏崎刈羽原発の重大事故に備えた柏崎市の避難計画で、動原発から半径30キロ圏外に避難するま

での主な避難経路として市が示す157ルートのうち、ほぼ半数に当たる78ルートに2007年の中越沖地震時の通行止め箇所があることが15日、新潟日報社の調べで分かった。原発事故と自然災害が重なる複合災害時には避難で使う道路が使えなくなる恐れがあることを表しており、識者からは複合災害時の避難方法を検討するよう求める声が出ている。

◆9月の街頭行動 9月11日(月) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第69号 2017年9月3日発行

連絡先

広井洋子 長岡市寿2-5-15

電話・FAX 24-2870

矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707